

# 生涯各期の学習計画 (生涯教育推進中期計画から)

区分と課題	学習課題	主な事業 (現在行っているもの、および、67年度までに実施予定のもの)
乳幼児期(0歳～5歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○母親となるための自覚を図り、よりよい母親としての在り方を身につける。</li> <li>○望ましい育児の基本的知識、技能を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健衛生課事業 (母親学級など)</li> <li>明日の親のための学級</li> <li>若いママさん講座 (一、三歳児の親)</li> <li>保育所主催事業 (保育所参観、懇談会)</li> <li>家庭教育講演会 (保育所父母の会と共催)</li> <li>育児グループ教室</li> <li>さわやか学級 (幼児家庭教育学級)</li> <li>絵本とおはなしの講座</li> </ul>
少年期(6歳～15歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健全な仲間づくりをめざす。</li> <li>○自主性や自立性を身につける。</li> <li>○心豊かな自己形成をめざす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年育成町民会議との連携事業 (映画会、あいさつ運動など)</li> <li>子ども会リーダー教室、ジュニアキャンプ、親子のつどいなど</li> <li>体操、卓球などの各種スポーツ教室、スポーツ大会</li> <li>青少年育成町民会議との連携事業 (地域懇談会など)</li> <li>家庭教育学級 (小、中学校委託)</li> <li>親子植物採集、星座を見る会、映画まつりなど</li> <li>町内文化財めぐり</li> <li>青年リーダー教室、青年スクール</li> <li>青年の国内研修</li> </ul>
青年期(16歳～24歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域社会の形成者としての役割と自覚を高める。</li> <li>○自発性、主体性をもって活動する。</li> <li>○若者らしく生きがいのある生活をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ大会</li> <li>成人式</li> <li>青年のつどい</li> <li>ボランティア活動への参加 (手話サークル一步の会など)</li> <li>ボランティアスクールの開催</li> </ul>
成人期(25歳～60歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな生活を送るための趣味・特技、教養・スポーツを習得する。</li> <li>○家庭内における教育力を身につける。</li> <li>○地域における文化活動世代間交流活動の中核的役割を果たす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種学級・講座 (書道、文学、園芸、ギター、版画など)</li> <li>自主グループの育成 (短歌、俳句、絵画など)</li> <li>各種スポーツ大会など</li> <li>家庭教育学級 (小、中学校委託)</li> <li>成人大学</li> <li>全町P連との連携、高校生を持つ親の会</li> <li>健康な町づくり町民講座</li> <li>分館活動の援助</li> <li>文化祭、文化財めぐり、各種展覧会、民具・郷土芸能保存会</li> <li>各種スポーツ大会、スポーツ団体への参加</li> <li>文化サークルへの参加、文化祭</li> <li>育児制度の導入</li> </ul>
婦人	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明るい社会づくりをめざし婦人としての自覚と役割を高める。</li> <li>○文化とスポーツに親しみ豊かな心と健康の増進に努める。</li> <li>○家庭人・職業人・町民としての学習を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康な町づくり町民講座</li> <li>グループ・サークルの育成</li> <li>いきいきレディススクール、婦人リーダー教室など</li> <li>三世代交流会</li> <li>家庭看護講座 (保健衛生課主催)</li> <li>各種婦人団体活動の活性化</li> <li>高齢者スポーツ教室、ゲートボール大会</li> <li>健康展 (保健衛生課)、健康な町づくり町民講座</li> </ul>
高齢期(61歳以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生きがいのある学習を深める。</li> <li>○地域活動に参加し、高齢者の役割を果たす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老人クラブの自主活動</li> <li>寿学級</li> <li>敬老会 (住民福祉課)</li> <li>地域におけるボランティア活動</li> <li>人材登録名簿の作製と活用</li> </ul>

## 生涯教育の問題点と展望

町では、県の生涯教育推進モデル事業の指定が終わった後も、生涯教育推進を進めますが、今後、どんな問題があるか等について、教育委員会社会教育課の担当者に話を聞きました。

まず社会教育と生涯教育とはどこが違うのか、ということから。

今までの社会教育というと、学校とは別に、学校を出て働いている人とかお年寄りを対象に、それぞれバラバラな位置づけで趣味などの講座をやってきたわけです。生涯教育ということでは、今後は家庭・地域・職場などはもちろん、学校教育も含めてあらゆる教育機会を考へに入れ、その人が一生を通じて自主的系統的に学習していけるような体制づくりを進めていきます。



北部地区公民館

それでは、学校教育との関係は。子供たちには社会的なつながりが必要だし、地域社会と触れ合っていくことも大切でしょう。そうした機会を学校と協力して与えていかなければ。また、現在もやっていますが、学校施設の開放もますます望まれるようになるでしょう。学校との連携を一層深めなくてはならないと思っています。民間のいわゆるカルチャーセンターについては、高いお金を払ってやるだけあって、民間の方がより高い能力を持つ人を講師として呼べるわけですから、こちらとしては、競合しないように、身近な場で、入門的なことをお世話する。もつと深めたい、高度なものも求めたいということなら、必要な情報を提供できるようにしたい。

黒埼町で生涯教育を推進していく上での問題点を。まず施設などの面では、社会教育委員会に生涯教育推進のための社会教育施設・人的体制の整備・充実についての諮問にたいする答申書があるのですが、そこに問題点が詳しく出ています。特に中央公民館です。本来なら町の生涯教育の中心としての機能を果たすべき施設なのに、現状は老朽化が進み、施設設備も十分でない。しかも専門の職員がいないという状態です。

各地域の公民館分館にも問題があります。それぞれの地域で活動の中心になるわけですが、組織・運営方法・活動内容に分館で差があるし、施設としても建物がない分館が四分館あります。建物があっても、何かするには施設設備が十分でないということもあります。整備しなくてはならないのですが、財政上の問題もあるし、解決は容易じゃないですね。また、分館長が一年交替になっているところが多く、分館での活動を何年か継続して進められないため、地域に根づいた活動にならないという問題もあります。計画の中では、青年期の人たちへ向けての施策が弱い、ということですが、

五年前に若者向けの講座として、ヤングスクールを開いたことがあります。人が集まらず、二年で終止符を打ちました。他の年代の人たちとは別な対応をしなくてはならな



中央公民館